

第2回新文化会館整備検討委員会 ワークワークショップの振り返り

★30のキーワード（アンケート含む）：

ローカル （地域）	人が集まる場 （たまり場）	寄り合いの場 （市民が使う）	練習の場	日常
周辺との結びつき （点から線へ）	出会いの場	みんなでやる 文化	自主活動 自立的な活動	文化を育む
楽しむ場 （ワクワク感）	（地域ぐるみで） つながる場	「みる」 「演じる」 「ささえる」	みんなで つくる場	文化を 享受する場
幅広い世代の声 が聞こえる場	学びの場 （体験の場）	（みんなの） ひろば	発表の場	心を満たす場
多様性を 認める場	人を育てる場	吸収し、継承し、 発展させる力	感動を与える場 感動する場	本物に触れら れる場 感性を磨く場
リージョナル （広域的視野）	リニア開通後 の役割	文化を創造す る拠点	（伝える） 発信する場	非日常 （ハレの場）

○第2回委員会ワークショップ 「新しい文化会館が果たす役割」

○5班に分かれて意見交換：

- 1班（4名） 塩澤 委員、賜 委員、遠山 委員、佐々木 委員
- 2班（3名） 川崎 委員、田中 委員、山元 委員
- 3班（3名） 飯島 委員、黒河内 委員、小澤 委員
- 4班（4名） 小木曾 委員、小西 委員、高松 委員、松下 参与
- 5班（4名） 片桐 委員、上沼 委員、前澤 委員、下井 館長

1班：

- ・「広場」、「（孤立から）点のリンク」、「ジャンルを超える」、「周辺との結びつき」、「日常的」「多様性」、「いろいろなものさし」「生きる喜び」、「心を満たす」、「心を豊かにする」、「わくわく」、「感性を磨く」、「感動を与える」、「育む」、「育てる」、「生きる豊かさを感じる広場」、「地域の人へのぬくもりを感じる広場」、「新たな芸術、文化に触れて感動できる広場」、「まちに経済効果をもたらす施設」、「シン・文化会館」

2班：

- ・「寄り合いの場」、「（いろいろな方が）気楽に立ち寄れる場所」、「人が自然と集まる場＝ランドマーク」、「みんなでやる文化」、「市民に寄り添った文化会館（バンドやダンスにも）」、「ひろば＝文化会館（創造発信）」、「市民が裏方まで関わっている」、「練習、発表、学習の場」、「いろいろな人が関われる場」、「本物に触れられる機会」

3班：

- ・「いろんな人たちが集まる場所」、「人と人との出会いがある」、「きっかけをつくる」、「地域ぐるみにつながっていく」、「吸収し、継承し、発展させる力」、「もっと進化させていく」、「舞台芸術を見たり触れたりお互いに学び合う」、「コミュニケーションの力、表現する力を高める」、「いろいろな舞台芸術の場」、「コミュニケーションや対人関係を学ぶ場」、「幅広い世代の声が聞こえる」、「体験の場」

4班：

- ・「文化を育む」、「文化を享受する場」、「ひろば」、「市民が集い文化を創造発信する拠点」、「文化芸術活動の発表の場」、「市民主体の文化の創造発信」、「刺激を受けられる場」、「心を奮い立たせられる発表や鑑賞の場」、「市民主体の文化芸術活動を市民に寄り添って支援する場」、「日常的な練習の場、ハレの発表の場」、「文化の創造発信ができる場」、「郡市民を対象にした広域的な視野を持った施設」、「若い世代を惹きつける場」

5班：

- ・「リニア開通後と開通前では、文化会館のあり方も変わってくる」、「飯田独自のものをつくる」、「独自性を持った事業」、「地域で舞台芸術の人を育てる」、「終了後の懇親会があることが大事」

-----

○学識委員の感想

(山元 学識委員)

- ・私は2班でお話させてもらったんですけど、1時間の間に出てきたキーワードというか、とっってもいっぱい**幅広いもの**がありました。
- ・皆さんのお話を聞いていると、大枠でいけば同じようなことを多分それぞれでお話されたのかなど。その中でより細かくお話されたんじゃないかというふうには思いました。今日、皆さんの理想、夢を語られた案だと思えます。**幅広い利用**であったりとか、**幅広いジャンル**であったりとか、**気軽に立ち寄れる**とか、いろんな意見出てきました。市民参加のこういう事業ができるのはやっぱり直営だからこそだという、そういうことを続けるというようなことも多分いろんなところでもお話があったと思います。
- ・本当に、これは**飯田のこれまでの文化の形**だと思えますけども、何よりも驚いたのが、この1時間の間、本当に皆さん熱心にお話をされる。これは、ほかのエリアでは多分こういう会議、熱の入った会議はないと思います。同じようにワークショップをやってもみんな黙ってらっしゃることのほうが多いんですね。それに本当に驚きました。
- ・でも、こういう飯田の市民の皆さんの熱意があるからこそ、これまでも飯田文化会館を50年続けてきたわけですし、事業も続けてきたんだというふうにも思っています。
- ・我々も外から来て、この飯田の市民の皆さんの熱い思いを受けて、次第に飯田を心のふるさとというか、そういうふうにするようになってきているんですけども、それがまたいい形でこの会がどんだんいろんな話が出てきて、より良い施設の建設につながっていけば良いなというふうに思っております。

(小澤 学識委員)

- ・私たちのグループでは、歴史のところから入っていきましました。その中から色々なことをお話して、子供たちという視点にどんどん入っていったんですけども、そこにたどり着くまでいろんなキーワードを前回の資料から見させていただいて、私たちのテーブルはそこに集中してお話しました。多分皆さんいろんな意見やいろんな視点が出てくるということは信じて集中してお話をしていました。
- ・山元さんがおっしゃるとおり、飯田文化会館さんというのは、市民の方と本当にこの50年間一緒にホールをつくってきた街の皆さんなのだということを実感させていただくほど、本当に熱心な皆さんが多くてそれぞれのご経験の中からどんどんどんどん熱心なお話があったかと思います。そのことが今度、**新しい劇場のポテンシャル**って、新しい潜在的なポテンシャルが、どんどんどんどん開いていくきっかけになるのではないかなと。もちろん**今までの強みというのを生かしつつ、新しいポテンシャルが開いていくきっかけになるのではないかな**というのを今日、実感いたしました。

(佐々木 学識委員)

- ・議論する前に「今日は1時間たっぷり時間がある」と申し上げたんですけども、おそらくそれでも足りなかったというふうに思ってる皆さんが多いのではないかと思います。ワークショップ参加させていただいて、ファシリテートをやらせていただくこともあるんですけども、これほど発言がどんどん出てきて、ある意味苦勞しないファシリテートというのも**飯田ならではの**というふうに思って参加させていただきました。
- ・今日のお話を聞いていて、私が皆さんの発表を聞いて思ったのは、**ローカルな視点とリージョナルな視点**というのをそれぞれのグループで、ローカル中心の視点で話されていたところもあると思いますし、リージョナルという、もう少し**広域**ですね、で話されていたところもあるのかなというふうに感じました。
- ・**ローカルな視点**に関しましては、**近寄りやすい場所**であるとか、**人と人との出会い**であるとか、何か**市民活動**であるとか、それが**日常性**のようなもの。要は、その**非常に地域に根ざした日常的な場**っていう概念、敷居が低いイメージというのは、皆さんの発表を聞いていてあるのかなというふうに思いました。
- ・その一方で、**リージョナル**なほうにいきますと、やはり皆さん**リニア**ができたときに**飯田の新文化会館**というのがどのような**位置づけになるのか**ということをかなり話されていて、実際、文化会館に今まで関わってきた皆さんからはかなり具体的に**自主事業**としてやっていく部分と、**貸館**としてやっていく部分がどうかというようなことまで含めて、そこで出てきているのは「**独自性**」っていう言葉が1つ発表の中であったのかなというふうに思いました。
- ・何か**ローカル**で見たときの**日常性**と**リージョナル**で見たときの**独自性**みたいなものをどういうふうに**両立させていくか**という辺りが、今日の皆さんの議論を聞いていて、何か私が1つ今後、**新文化会館**というのを考えていくときの何か**きっかけ**というかななるのかなというのが本日の議論に参加をさせていただいて皆さんの発表を聞いて思ったことです。